

2015年6月期第2四半期決算 および 長期経営戦略説明会

日本工営株式会社
代表取締役社長 有元 龍一

本日のアジェンダ

I : 会社概要および事業概要

会社概要および事業概要
国内コンサルタント事業
海外コンサルタント事業
電力エンジニアリング事業

II : 2015年6月期第2四半期決算および通期見通し

2015年6月期第2四半期決算実績
2015年6月期業績予想

III : 長期経営戦略(2015.7-2021.6)の概要

I : 会社概要および事業概要

NIPPON KOEI

会社概要

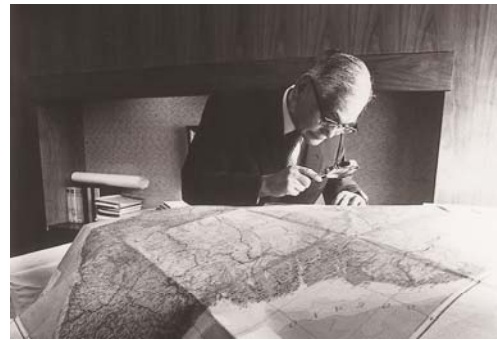
I : 会社概要および事業概要

名称	日本工営株式会社／NIPPON KOEI CO., LTD.
設立	1946年(昭和21年)6月7日
従業員数	2,991名(連結)、1,845名(単独)
資本金	7,393百万円
事業年度	7月1日～6月30日
上場証券取引所	東証第一部
証券コード	1954
事業内容	開発および建設技術コンサルティング業務ならびに技術評価業務 電力設備、各種工事の設計・施工、電力関連機器、電子機器、装置などの製作・販売
連結子会社	14社(日本法人 8社 海外法人 6社)
経営理念	誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。

創業者 久保田豊

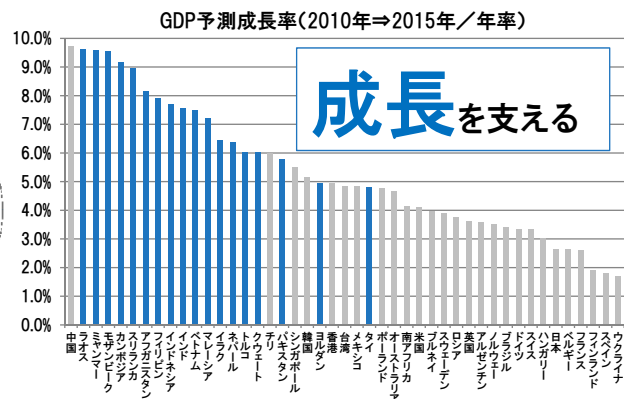
久保田豊(1890~1986)

- ・ 戦前:朝鮮半島で当時世界最大級の電源開発(水豊ダム/700MW)に従事
- ・ 日本産業再建技術協会を設立し日本の戦後復興に寄与
- ・ 1946年(昭和21年) 日本工営設立
- ・ ビルマ(ミャンマー)、ベトナム、ラオス、インドネシア他、世界を中心に活躍。海外技術協力の父



当社の強み①

世界各国で安全・安心と成長を支えてきた歴史と実績



- 1954年以降、147の国と地域で国づくり、人づくりの根幹にかかわる事業を実施
- 国内外の発展段階に応じた社会基盤(インフラ)整備に貢献
- 多くのエマージング諸国の電力、運輸交通などの基幹インフラ整備は、日本のODAによる援助事業として、日本工営がリード

高い技術力と実現力

- 高度な技術を有する専門家集団
- あらゆる分野の技術者(人材)を保有
- コア技術の研究・開発を担う中央研究所
- コンサルタントと電力エンジニアリングのシナジー

近年高度化・複雑化する社会的課題に
最適なソリューションを提供

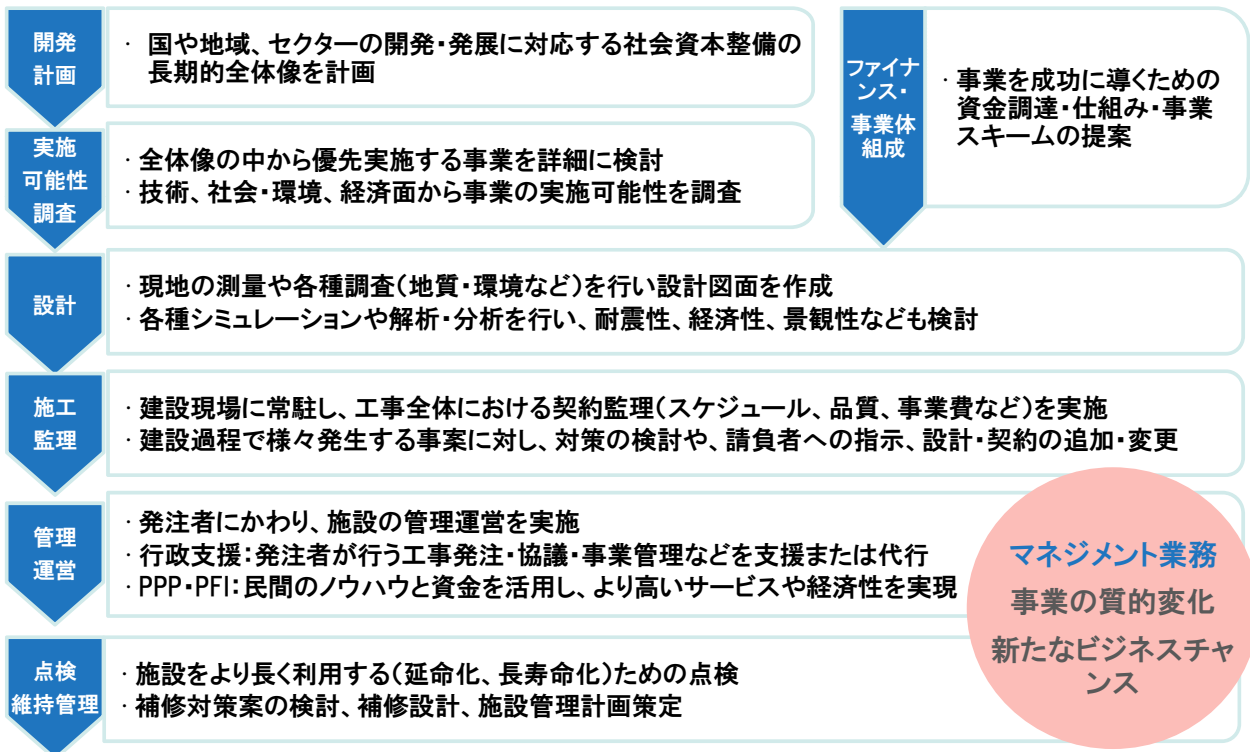
事業のフィールド



社会インフラに関するあらゆる分野に
当社の事業フィールドは広がっています



建設コンサルタントとは



業界での位置づけ (コンサルタント・日本国内)

順位	会社名	売上高(百万円)	
		建設コンサルタント部門	全体
1	日本工営 ※2013.3期決算数値	39,736	55,506
2	パシフィックコンサルタンツ	35,904	37,381
3	建設技術研究所	28,557	30,059
4	オリエンタルコンサルタンツ	22,797	23,635
5	八千代エンジニアリング	16,799	17,169
6	いであ	14,293	14,907
7	ニュージェック	13,993	14,324
8	国際航業	13,836	32,659
9	エイト日本技術開発	13,591	15,350
10	日水コン	13,317	14,476
17	玉野総合コンサルタント (都市計画・まちづくりに強い)	8,557	10,383
81	日本シビックコンサルタント (地下空間設計・トンネルに強い)	1,782	1,821

※出典:日経コンストラクション2014年6月9日号
建設コンサルタント部門売上高ランキング(決算内容一覧)

業界での位置づけ (コンサルタント・Global)

順位	会社名	2013年 売上高 (百万ドル)	順位	会社名	2013年 売上高 (百万ドル)
1	ARCADIS NV, Amsterdam, The Netherlands	3,341.0	12	Grontmij NV, De Bilt, The Netherlands	1,012.3
2	Tetra Tech Inc., Pasadena, Calif., U.S.A.	2,542.0	13	COWI, Kongens Lyngby, Denmark	975.5
3	WSP, Montreal, Quebec, Canada	2,325.7	14	Aurecon, Melbourne, Victoria, Australia	963.2
4	Mott MacDonald, Croydon, Surrey, U.K.	2,011.6	15	Royal HaskoningDHV, Amersfoort, The Netherlands	865.2
5	ARUP Group Ltd., London, U.K.	1,556.2	16	Poyry, Vantaa, Finland	864.0
6	Ramboll Group A/S, Copenhagen S, Denmark	1,389.8	17	Tractebel Engineering, Brussels, Belgium	650.9
7	AF AB, Stockholm, Sweden	1,300.7	18	SYSTRA, Paris, France	611.8
8	SWECO, Stockholm, Sweden	1,261.0	19	Mouchel, Woking, Surrey, U.K.	581.3
9	Golder Associates Corp., Mississauga, Ontario, Canada	1,226.0	20	Sargent & Lundy LLC, Chicago, Ill., U.S.A.	521.7
10	Egis, Saint-Quentin-en-Yvelines, France	1,214.8	21	Nippon Koei Group, Tokyo, Japan	514.8
11	Cardno Ltd., Brisbane, Queensland, Australia	1,193.9	22	Hyder Consulting, London, U.K.	472.1

※出典：ENR.com : The Top 150 Global Design Firms 2014より当社と同系(Engineering)の企業を抽出して作成

電力エンジニアリング事業①

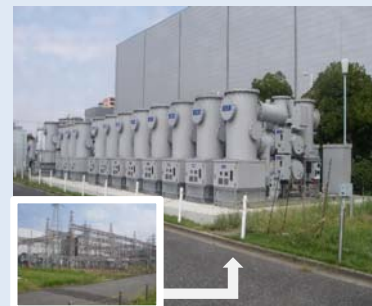
水力発電機器、制御機器の製造において60年以上の実績



電力システムの監視制御を効率的に行う集中監視制御システムの製造



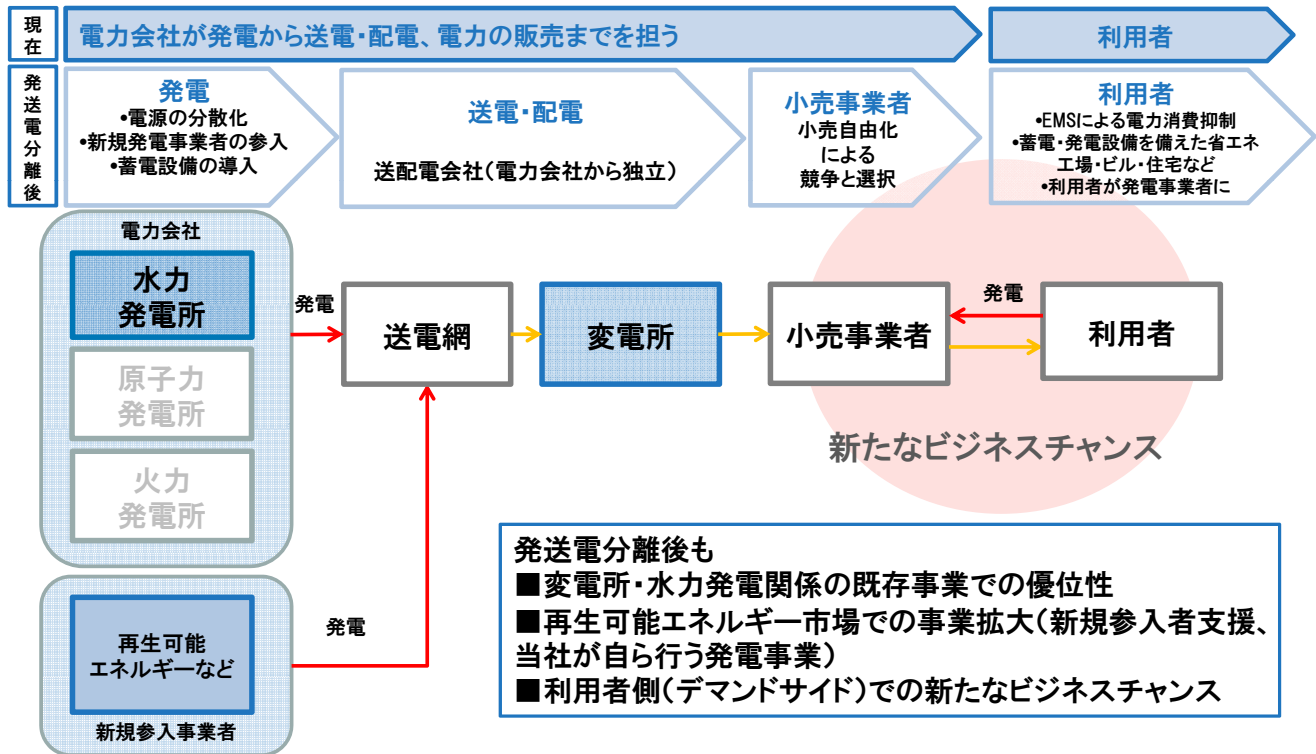
・水力発電用の水車・発電機の製造
・その他電力機器の製造



変電所、発電所などの新設・改修工事

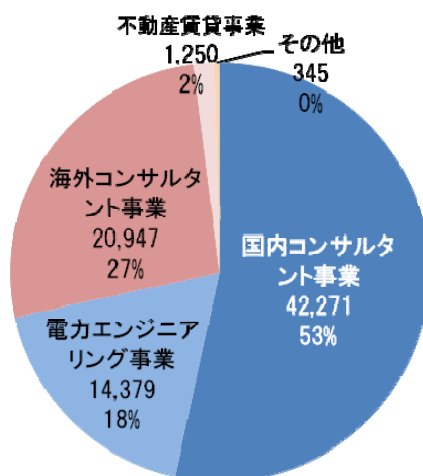
電力エンジニアリング事業②

今後の電力ネットワーク

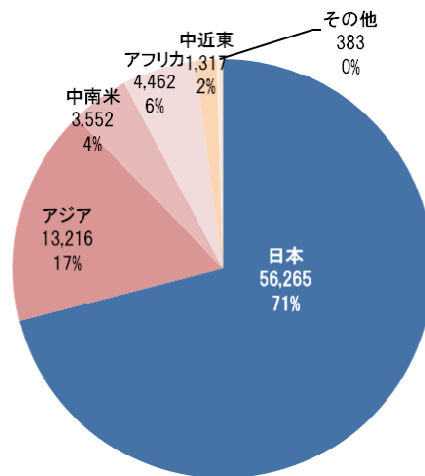


セグメント別売上高構成比

● セグメント別売上高比率
(2014.6期実績)



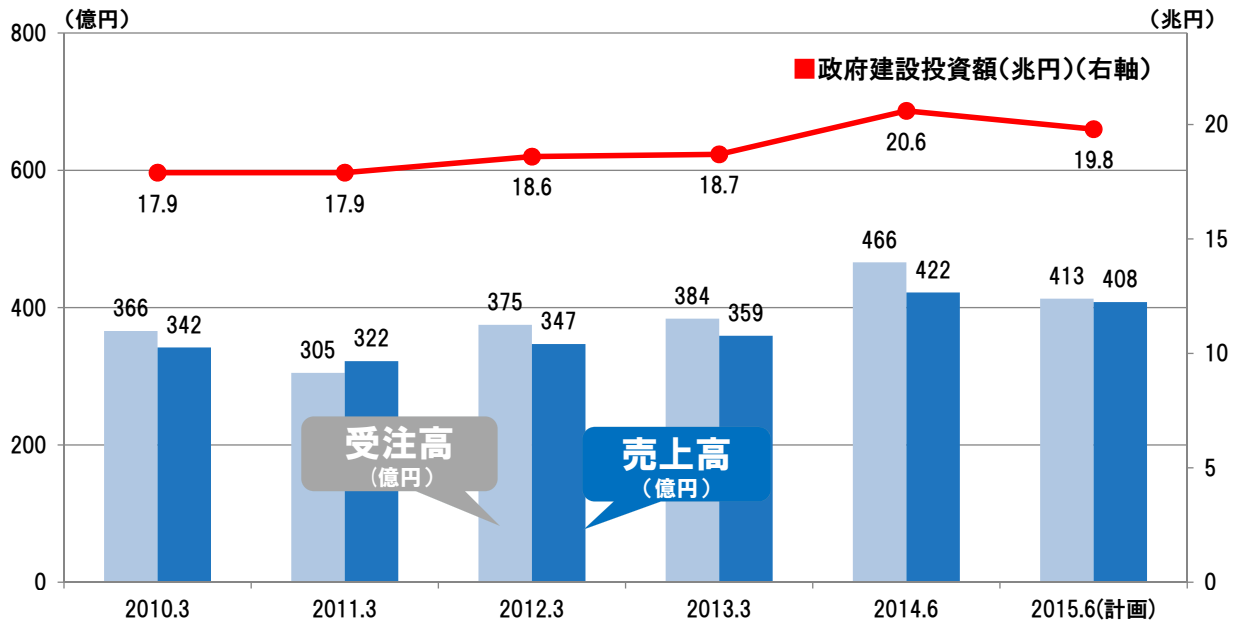
● 地域別売上高比率
(2014.6期実績)



国内コンサルタント事業

国内市場動向と受注・売上高推移

震災後、受注・売上高増加



※2013年6月期は決算期変更に伴う3ヶ月の変則決算につき割愛

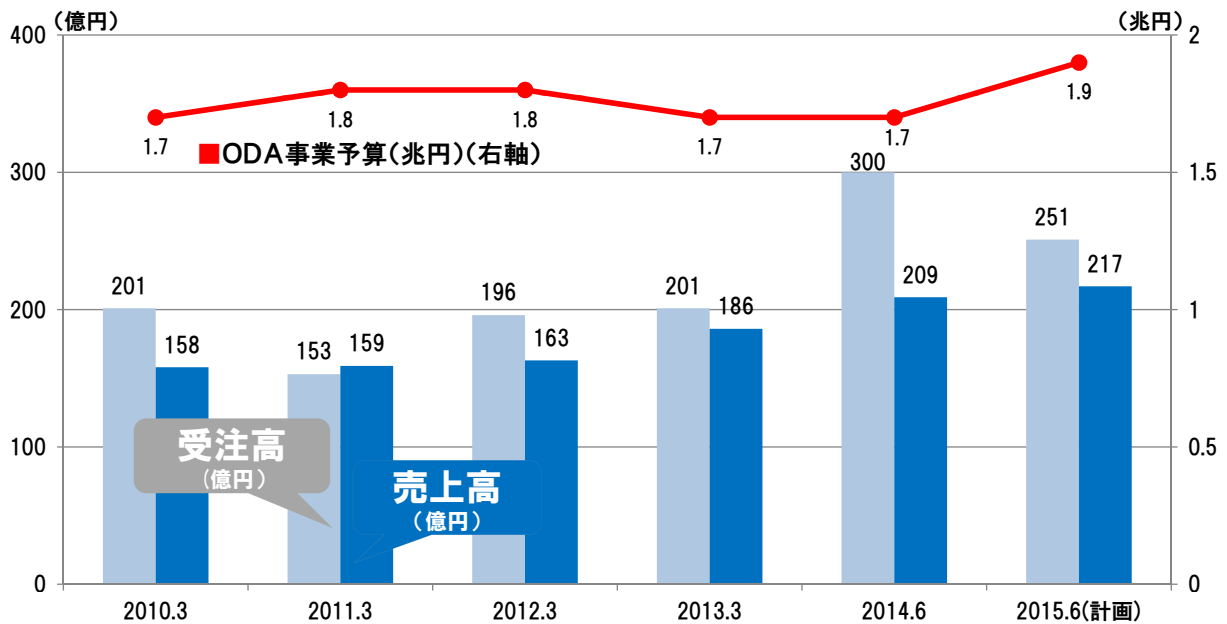
国内コンサルタント事業概要

- 年間約**3,000件**のプロジェクトに対応
- 震災後、**復興**事業に関する業務の受注が好調に推移
- 津波対策・耐震化施策等の**防災・減災**関連業務の受注が増加
- 公共施設に係る長寿命化や機能保全を図る案件等の**マネジメント**業務の受注が増加
- 局地的な**集中豪雨**や広域地震や火山噴火などに伴う**土砂災害**等の各種の災害に対し、常に第一線に対応

海外コンサルタント事業

海外市場動向と受注・売上高推移

受注高は大型案件により左右されるが、売上高は順調に増加



※2013年6月期は決算期変更に伴う3ヶ月の変則決算につき割愛

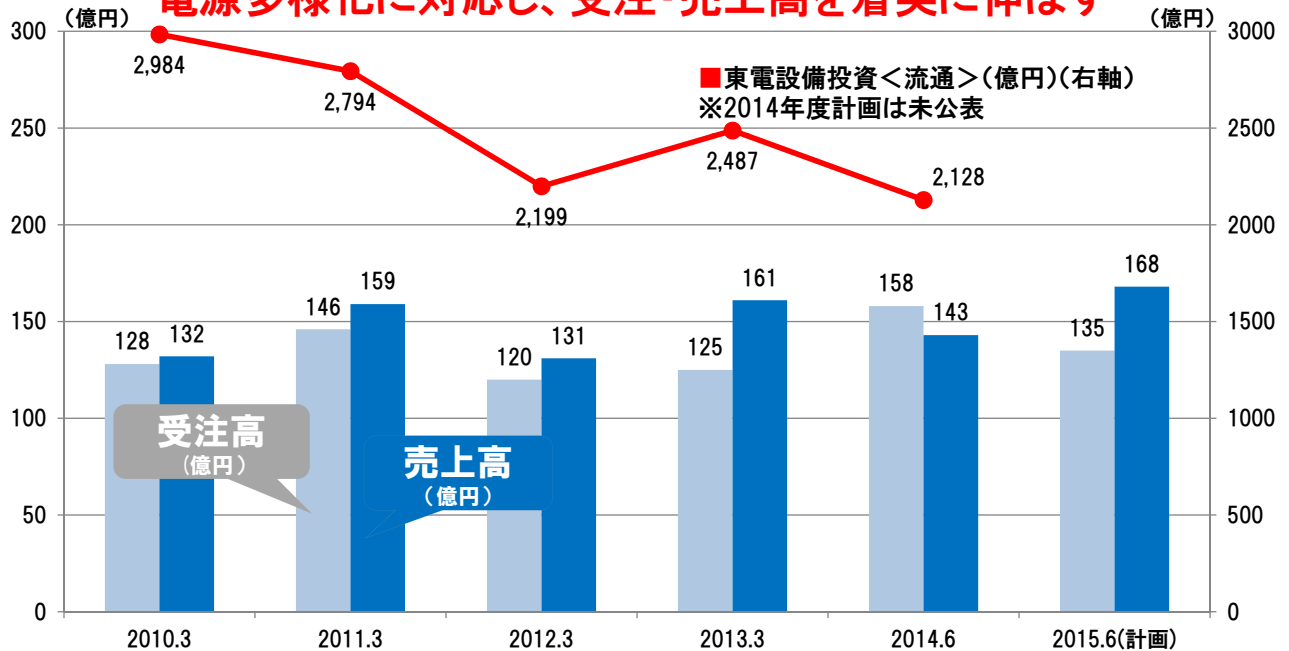
海外コンサルタント事業概要

- 年間**300件**あまりのプロジェクトを世界**40ヶ国**で実施
- **ODA資金**に基づく案件の受注
新興国においてインフラ開発の需要が高まり、都市インフラの整備・開発案件の受注が拡大
- **中南米、サハラ砂漠以南のアフリカ諸国**や**メコン地域**など新興市場への営業展開を強化
- **民間資金**による小水力発電事業、工業団地開発事業などの案件にも多くの実績

電力エンジニアリング事業

電力市場動向と受注・売上高推移

電源多様化に対応し、受注・売上高を着実に伸ばす



※2013年6月期は決算期変更に伴う3ヶ月の変則決算につき割愛

NIPPON KOEI 19

電力エンジニアリング事業概要

- 東京電力(株)をはじめとする電力会社、民間・官公庁が主要顧客
- 主力である**電力会社の設備更新業務**は、震災の影響で一旦落ち込むも回復の見通し
- **水力発電**に関して、地点選定から調査、測量も含めた土木工事の計画と施工、発電設備の設計・製造と据え付け工事までのすべてを手掛けることが可能
⇒**FIT(電力固定価格買取制度)案件**を中心に官公庁・民間からの受注拡大
- 生産能力を增強し、水力発電需要の増加に対応

NIPPON KOEI 20

II:2015年6月期第2四半期 決算および通期見通し

NIPPON KOEI

連結業績サマリー

II:2015年6月期第2四半期決算および通期見通し

単位:百万円	2015年6月期 第2四半期			
	実績	前期実績	前期比	前期差
受注高	45,053	44,135	2.1%	918
受注残高	111,493	96,556	15.5%	14,937
売上高	16,846	16,485	2.2%	361
営業利益	▲4,726	▲3,994	—	▲732
経常利益	▲3,927	▲3,748	—	▲179
当期純利益	▲1,040	▲2,656	—	1,616

- 受注が好調に積み上がり、**過去最高の受注残高(1,000億円超)**達成
- 一般管理費の増加(本社ビル建替えに向けた不動産の加速償却、M&A費用)により営業損失が増加
- 為替差益による営業外収益増加
- 不動産売却により当期純損失縮小

連結貸借対照表

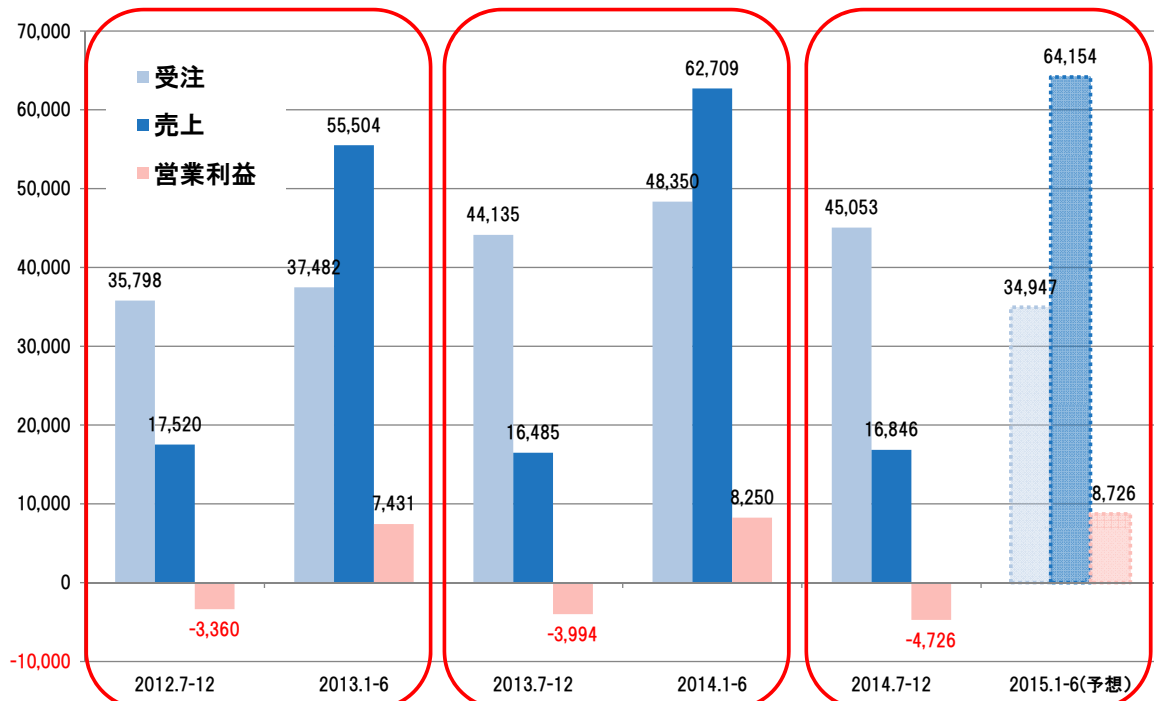
単位：百万円	2015年6月期 第2四半期			
	実績	前期実績	2014年6月末差	2013年12月末差
資産	87,401	76,144	11,257	8,896
流動資産	48,424	36,749	11,675	5,405
有形固定資産	24,547	26,588	▲2,041	1,565
無形固定資産	624	787	▲163	▲328
投資その他	13,806	12,019	1,787	2,256
負債	40,862	28,309	12,553	4,029
流動負債	32,702	20,528	12,174	4,050
固定負債	8,160	7,780	380	▲20
純資産	46,539	47,835	▲1,296	4,868

- 季節的要因によって仕掛品が増加し、流動資産(2014年6月末差)116億増
- 不動産売却によって有形固定資産(2014年6月末差)20.4億減

収益の季節性

下半期に売上・利益計上の傾向

単位：百万円



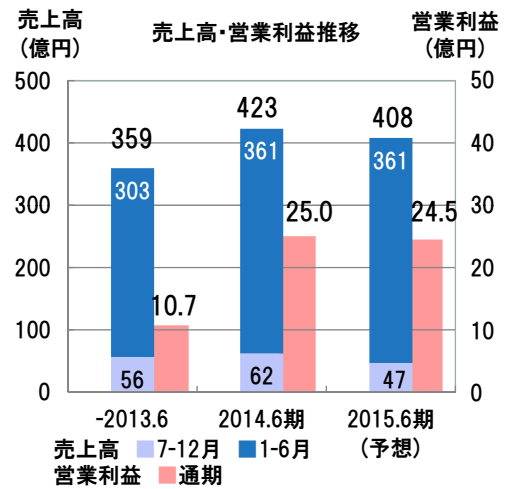
国内コンサルタント事業

上半期のトピックス

- 政府公共事業費縮小の中、シェア向上
- 高速道路の大規模更新計画を完了
- 広島市の土砂災害や御嶽山噴火災害関連の緊急業務を受託し、復旧や今後の減災に寄与

下半期の取り組み

- 発注の前倒しに対応して4~6月の受注を確保
- CM(コンストラクションマネジメント)、市町村の公共施設更新、インフラ管理包括委託など新しいコンサル業務に対応



単位:百万円、%	2013.3期 2Q-3Q	2013.3期4Q 2013.6期	2014.6期		2015.6期	
	2012.7-12	2013.1-6	2013.7-12	2014.1-6	2014.7-12	2015.1-6(予想)
受注高	19,636	21,000	22,893	23,724	21,848	19,452
売上高	5,644	30,291	6,210	36,061	4,672	36,128
営業利益	▲3,295	4,367	▲3,024	5,526	▲3,418	5,868
営業利益率	▲52.0%	14.8%	▲48.7%	15.3%	▲73.2%	16.2%

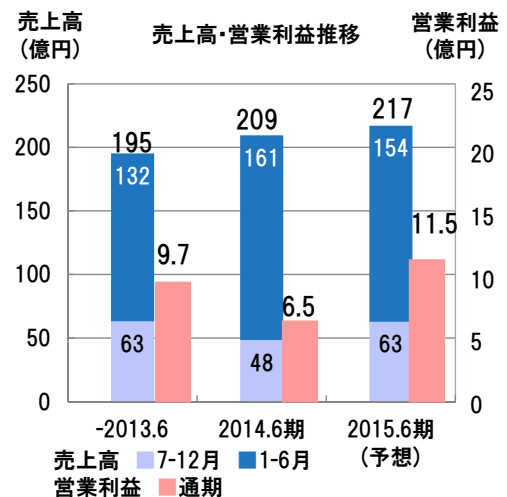
海外コンサルタント事業

上半期のトピックス

- 大型ODA案件の受注
(カーボベルデ国海水淡水化、バングラデシュ国石炭火力発電、イラク国港湾復興)
- 地域統轄事業部の設立(アジアおよび中南米)
- インドネシア、フィリピン、ベトナム子会社の連結

下半期の取り組み

- PPP事業に対するコンサルティング業務拡大
- 地元密着型の技術営業による受注拡大
- インドネシア国の小水力発電事業着工



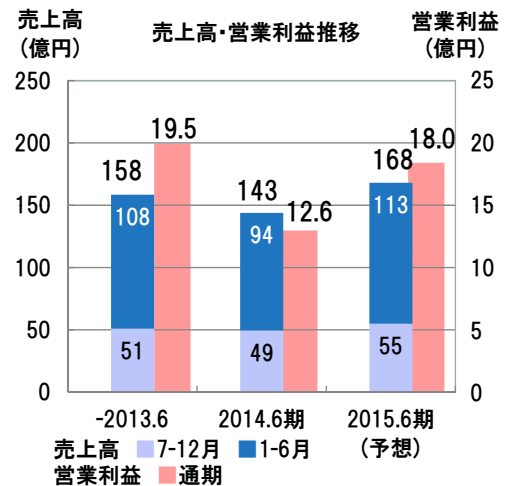
単位:百万円、%	2013.3期 2Q-3Q	2013.3期4Q 2013.6期	2014.6期		2015.6期	
	2012.7-12	2013.1-6	2013.7-12	2014.1-6	2014.7-12	2015.1-6(予想)
受注高	9,327	9,958	16,245	13,778	16,565	8,535
売上高	6,307	13,214	4,844	16,103	6,277	15,423
営業利益	▲300	1,270	▲903	1,561	▲1,119	2,269
営業利益率	▲5.7%	8.9%	▲18.6%	9.7%	▲17.8%	14.7%

上半期のトピックス

- 電力会社における老朽化設備更新案件で大型受注
- FIT関連案件で水車・発電機を納入
- 民間新規顧客を開拓

下半期の取り組み

- FIT適用の既設水力発電所の更新・新設工事の受注
- 性能向上・コストダウン研究と新規事業につながる技術開発を促進



単位:百万円、%	2013.3期 2Q-3Q	2013.3期4Q 2013.6期	2014.6期		2015.6期	
	2012.7-12	2013.1-6	2013.7-12	2014.1-6	2014.7-12	2015.1-6(予想)
受注高	6,823	6,517	4,988	10,843	6,635	6,865
売上高	5,086	10,756	4,944	9,435	5,482	11,318
営業利益	289	1,662	▲53	1,320	369	1,431
営業利益率	6.9%	14.2%	▲1.1%	14.0%	6.7%	12.6%

通期見通し

単位:百万円	2015年6月期			
	見通し	前期実績	前期比	前期差
売上高	81,000	79,193	2.3%	1,807
営業利益	4,000	4,256	▲6.0%	▲256
経常利益	4,500	4,542	▲0.9%	▲42
当期純利益	4,100	2,998	36.8%	1,102

単位:百万円	受注高			売上高			営業利益		
	予想	前期比	前期差	予想	前期比	前期差	予想	前期比	前期差
国内コンサルタント事業	41,300	▲11.4%	▲5,317	40,800	▲3.5%	▲1,471	2,450	▲2.1%	▲52
海外コンサルタント事業	25,100	▲16.4%	▲4,923	21,700	3.6%	753	1,150	74.8%	492
電力エンジニアリング事業	13,500	▲14.7%	▲2,331	16,800	16.8%	2,421	1,800	42.1%	533
不動産賃貸事業	—	—	—	800	▲36.0%	▲450	560	▲31.5%	▲258
その他	100	614.3%	86	900	▲21.1%	▲240	▲1,960	97.8%	▲969
計	80,000	▲13.5%	▲12,568	81,000	2.3%	1,807	4,000	▲6.0%	▲256

- 受注・売上・利益ともに期初計画通りを見込む

Ⅲ：長期経営戦略 (2015.7-2021.6)の概要

NIPPON KOEI

Ⅲ：長期経営戦略(2015-2021)の概要

当社を取り巻く事業環境

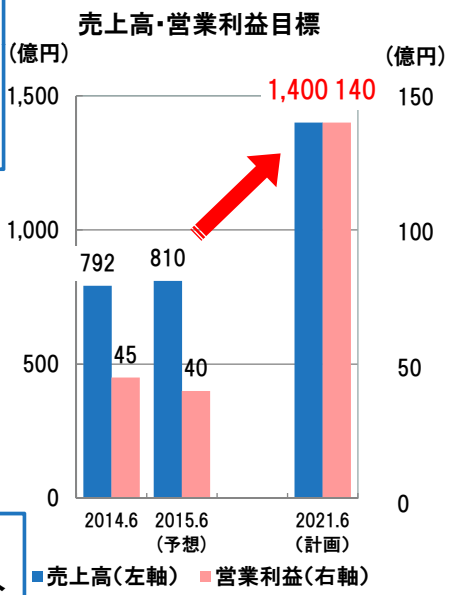
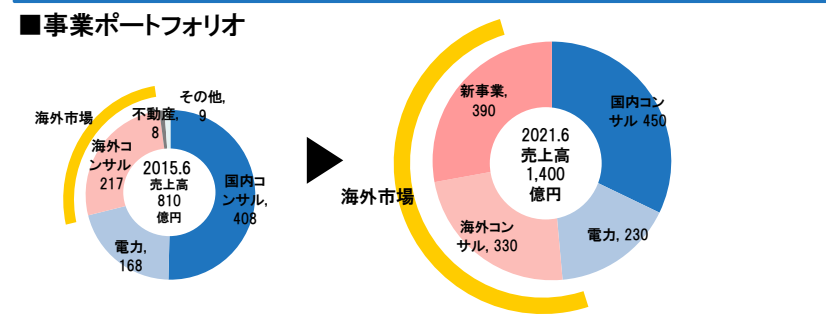
事業環境の変化		当社の対応
国土強靱化	→	防災・減災
インフラ長寿命化	→	インフラマネジメント
地方創生	→	コンパクトシティ、地域間ネットワークの形成
開発協力大綱 (新ODA大綱)	→	質の高い成長と貧困撲滅、Non-ODAとの連携
新興国の経済成長	→	都市化の進展、エネルギー、交通網の整備
気候変動対策	→	防災・減災、環境
電力システム改革	→	電源の分散化、発送電分離、小売自由化、デマンドサイド

顧客ニーズの高度化・多様化が進展
海外を中心に市場は拡大し、当社グループに対する需要増加

2021年6月に目指す姿

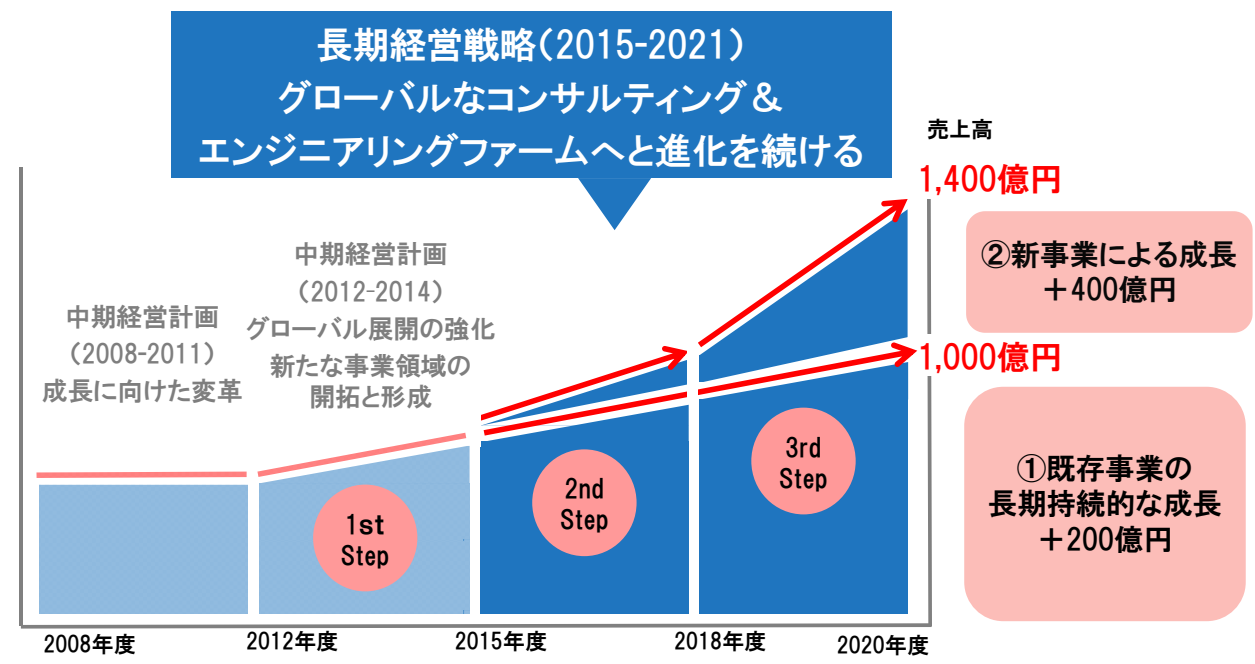
安全・安心な社会基盤と豊かな生活空間づくりに
価値あるサービスを提供し未来を拓く

- 数値目標
- 連結売上高 **1,400**億円
 - ROE **10**%
 - 営業利益 **140**億円
 - 営業利益率 **10**%



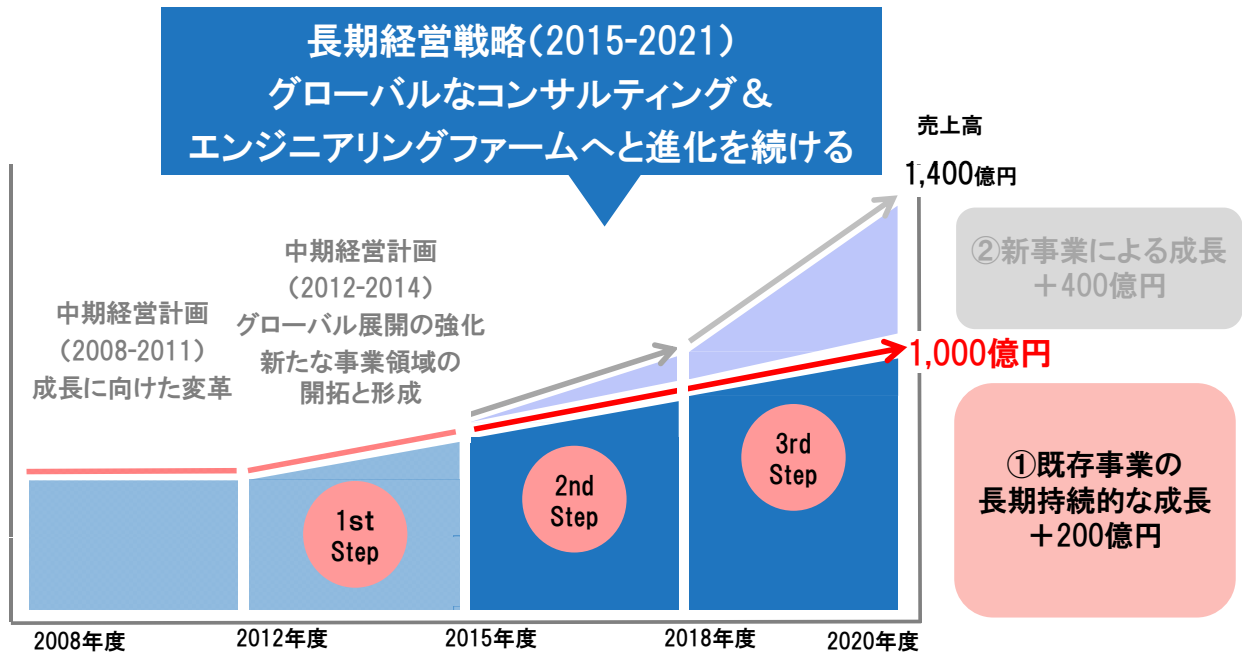
- 成長市場は**海外**
- リージョナルエンジニアを増強、地域密着型の生産体制へ

長期経営戦略のステップ



長期経営戦略の成長戦略①

①既存事業の長期持続的な成長



長期経営戦略の成長戦略①

①既存事業の長期持続的な成長

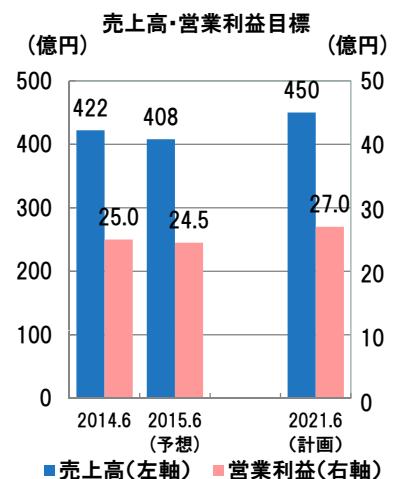
国内コンサルタント事業

技術・品質の向上による既存顧客のシェア拡大

地域特性に合わせた施策展開・地域連携の活用
地域的・分野的補強

重点事業分野(「防災・減災」「地域創生」「マネジメント」等)の拡大・展開

シェア向上と地域連携による増収



(単位:億円)	2014.6	2015.6 (予想)	2021.6 (計画)
売上高	422	408	450
営業利益	25.0	24.5	27.0

長期経営戦略の成長戦略①

①既存事業の長期持続的な成長

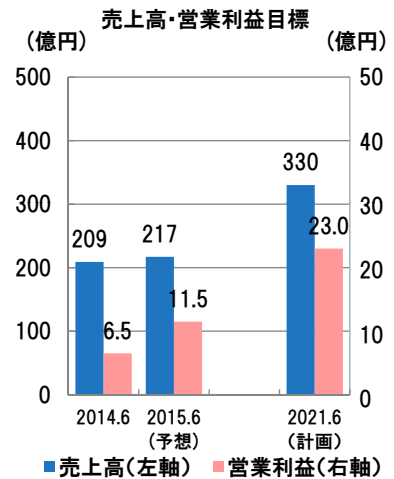
海外コンサルタント事業

リージョナルエンジニア育成による生産体制の拡充

ODA事業のシェア拡大

新分野(都市型事業、PPP等)への展開

リージョナルエンジニアの育成による
生産体制の確立



(単位:億円)	2014.6	2015.6 (予想)	2021.6 (計画)
売上高	209	217	330
営業利益	6.5	11.5	23.0

長期経営戦略の成長戦略①

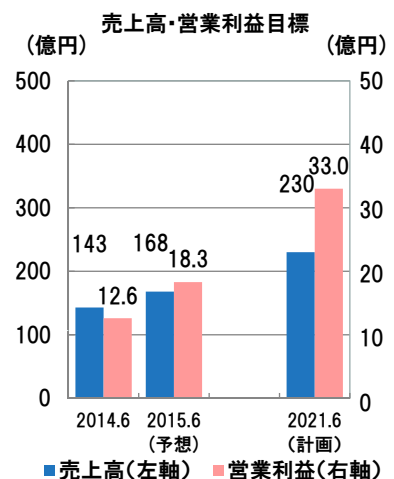
①既存事業の長期持続的な成長

電力エンジニアリング事業

電力会社の次世代システムに対応した技術開発推進、価格競争力の向上

新市場(デマンドサイドビジネス、水力発電等)の開拓

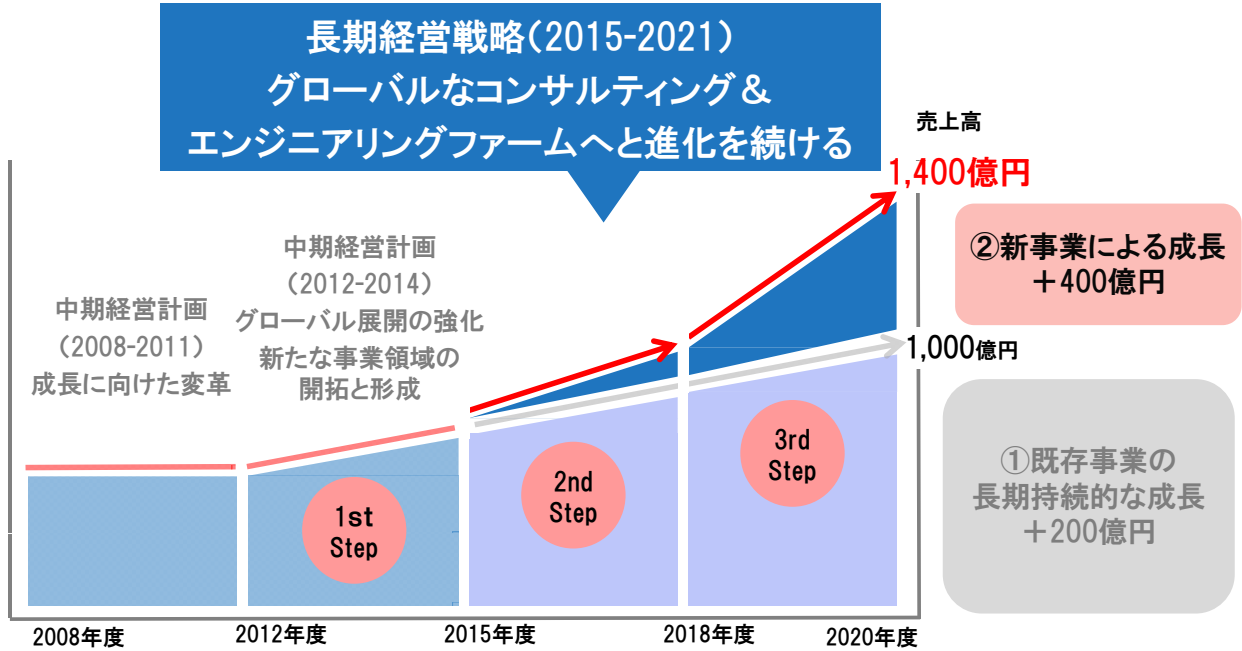
コスト競争力と技術開発による
高収益体制の確立



(単位:億円)	2014.6	2015.6 (予想)	2021.6 (計画)
売上高	143	168	230
営業利益	12.6	18.3	33.0

長期経営戦略の成長戦略②

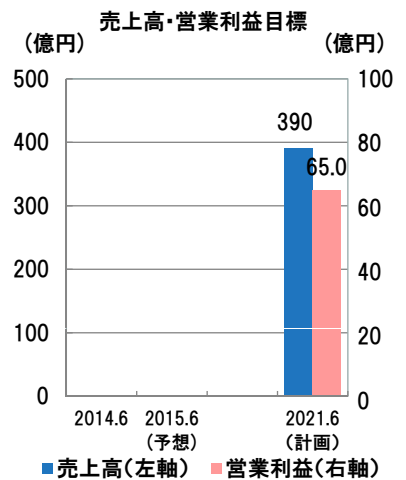
②新事業による成長



長期経営戦略の成長戦略②

②新事業による成長

M&A投資	都市開発分野での成長エンジン獲得
事業投資型ビジネス	当社の知見を活かした投資型ビジネスの展開 (発電事業・民間プロジェクト・PPP・PFI・コンセッション事業等)
M&Aと事業投資による 成長ドライバー獲得	



(単位:億円)	2014.6	2015.6 (予想)	2021.6 (計画)
売上高	-	-	390
営業利益	-	-	65.0

成長を支える3つの経営政策

技術政策

- ・ プロセス管理・品質マネジメント・建設マネジメントの高度化
- ・ 3次元構造設計技術・3次元流体解析技術の開発・高度化
- ・ ビッグデータ活用技術、維持・管理・運営技術の開発
- ・ 製品のグローバルスタンダード化進展

人事・組織政策

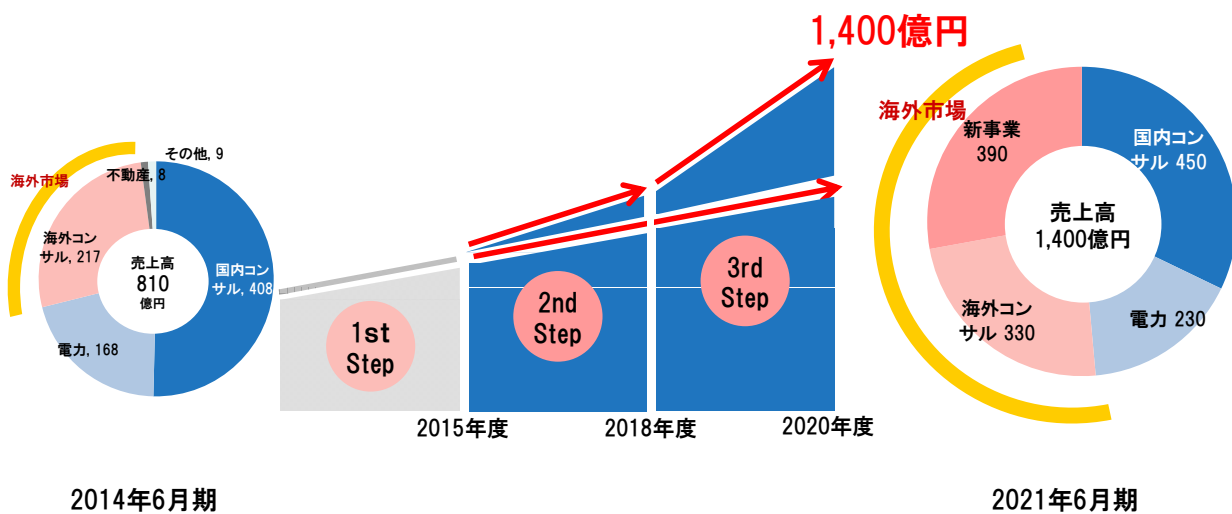
- ・ 社内総合力発揮に向けた組織改革(マーケティング機能と企画機能の統合、社内連携強化にむけたワークプレイス整備等)
- ・ グローバル化と地域化に対応した人事制度改革
- ・ グループ経営体制の改革(コーポレートガバナンスの強化)

投資・資本政策

- ・ M&A投資による成長エンジン獲得、主力事業のシェア獲得
- ・ 事業投資型ビジネスの展開
- ・ 社内連携強化投資(ソフトウェア、本社ビル)、人財開発投資

2021年6月に目指す姿

■事業ポートフォリオ



長期経営戦略(2015-2021)
グローバルなコンサルティング &
エンジニアリングファームへと進化を続ける

グループビジョン

あらゆるニーズに総合的に応えられる技術分野の拡がり



**安全・安心な社会基盤と豊かな生活空間づくりに
価値あるサービスを提供し未来を拓く**

誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。

NIPPON KOEI

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績見通しを含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なることが起こりえます。

IRに関するお問い合わせ

日本工営株式会社 総合企画部 コーポレートコミュニケーション室

03-5276-2454

koei-ir@n-koei.co.jp

www.n-koei.co.jp